

【院長挨拶】

4月1日から平成30年度が始まりました。時の流れに印がついているわけではありませんが、当院においてもそれぞれの職場で新入職員を迎える節目の時期となりました。診療部では8名の初期臨床研修医以外に、消化器内科6名、循環器内科1名、呼吸器内科1名、外科3名、整形外科4名、形成外科1名、放射線科1名、救急・総合診療センター1名と数多くの新しい先生方が加わる事となりました。この中には本年4月から始まった新専門医制度のもとでの専攻医の先生方も含まれています。「鉄は熱いうちに打て」と言いますが、初期研修2年間に続く、専攻医としての後期研修3年間は併せた卒後の約5年間は医師として最も重要な時期と考えられます。是非実のある研修になるよう、先輩上級医の方々にはご指導のほどお願い致します。



4月から診療報酬が改定されましたが、個々の事象に惑わされることなく、当院の目指す地域医療、なかんずく緊急のカテ・内視鏡・手術を含めた救急医療や各科の専門診療をさらに充実させ、地域で信頼される病院を目指していきたくと考えます。全職員が力を合わせ、目標に向かってご協力をお願い致します。

寺柿 政和

【新電子カルテに更新】 情報管理課 課長 丸濱 勉

去る2月12日に新電子カルテの更新をいたしました。導入切り替え時期につきましては、患者様、地域の医療に関わる皆様におきましてご不便をおかけいたしました。多大なご協力を頂きましたことを感謝いたします。おかげさまで大きなシステムトラブルもなく無事、通常運用しております。

前号でも記載させていただきましたが、今回は、NEC・MegaOak NEMRから最新版のMegaOak HRに切り替えました。約2日間でデスクトップ、ノート端末含め435台を各現場に展開し、携帯端末100台を新たに導入致しました。過去診療録記事やオーダー情報、文書データ等のデータ移動も同時期に行いまして比較的大規模なシステム更新となりました。



【スプリング・コンサート実施】

3月9日に恒例、スプリング・コンサートを開催致しました。奏者は大阪市立大学医学部オーケストラ部の皆様のご協力で実施。クラシック、映画音楽から懐メロまで幅広い楽曲ジャンルを披露されました。静かに聞く音楽からは一転して懐メロでは、皆さん、盛り上がりおりました。患者さんやそのご家族のみなさんに楽しんでいただきました。



外来診察医担当表

		月	火	水	木	金	土	
午 前	内科	初診	橋村 直英	*江原 省一	*井口 紀子	寺柿 政和	寺川 洋子	櫻井 裕久
		内科一診	高塚 正樹	松山 宗樹	野々村綾実	仲川 浩一郎	藪さこ 恒夫	*奥田 博朗
		二診	木田 裕子	上田 美和	藪さこ 恒夫	堀田 潔	森川 貴子	*河野 光泰
			宮城 邦栄	—	—	宮城 邦栄	—	—
		循環器一診	坂上 祐司	西矢 大輔	冨田 洋平	宮崎 知奈美	*田村 尚大	担当医
		二診	—	高木 康浩	寺柿 政和	不整脈外来 前田 恵子	ペーサーカ-専門 外来	伊藤 文花
		呼吸器内科	—	担当医	*浅井 一久	*川本 珠貴	担当医	—
		糖尿病内科	*千田 麻里子	—	*宮島 雅子	—	—	—
	外科	一診	葛城 邦浩	大場 一輝	清田 誠志	廣橋 一裕	倉島 夕紀子	岸田 哲
		二診	—	—	岸田 哲	—	橋場 亮弥	—
		呼吸器外科	—	—	森田 隆平	—	—	*岩田 隆
	整形	初診	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
		再診	—	—	—	大はた 武夫	—	住友 暁
		再診	—	谷 亮佑	—	中澤 克優	—	*スポーツ整形
手外科		寺浦 英俊	—	—	—	池田 幹則	—	
リウマチ		—	—	—	—	—	*担当医	
形成	一診	辻口 幸之助	辻口 幸之助	辻口 幸之助	横山 萌加	辻口 幸之助	横山 萌加	
脳外	一診	*川端 信司	磯野 直史	*加茂 正嗣	—	竹内 孝治	—	
午 後	専門外来	—	整形外科 上松 正人	緩和ケア 大場 一輝	神経内科 *今井 輝國	—	神経内科 *小坂 理	
		循環器内科再診 細見 興太	—	フック7外来 坂上 祐司	肝臓・栄養 *羽生 大記	心臓血管外科 *柴田 利彦	—	
		緩和ケア 藪さこ 恒夫	脊推 *山田 賢太郎	外科 葛城 邦浩	肝臓 藪さこ 恒夫	肝胆膵外科 清田 誠志	肝臓(治療) 藪さこ 恒夫	
		—	—	—	整形外科 富本 彩夏	—	—	

*心臓血管外科は第2・4週のみとなります。

* 非常勤医

平成30年4月1日 医局

「基幹型研修医臨床研修修了証交付式」

平成29年度基幹型研修医臨床研修修了証交付式を3月30日に開催いたしました。本年度は、天王寺都ホテルで行い、研修医3名が無事修了いたしました。指導医の先生方の体験談なども交え、コメディカルや研修医OB・OGの参加もあり、和やかな交付式となりました。



4月より下記のように医師の人事異動がありましたのでお知らせいたします。

<平成30年度 医局人事一覧>

内科	入職	木田 裕子	堀田 潔	橋村 直英	寺川 洋子	野々村 綾実	上村 拓也
	退職	岡井 香生里	奥田 博朗	葛本 琢哉	河野 光泰	松本 侑士	
循環器内科	入職	伊藤 文花					
	異動(出)	鄒 仁峰					
呼吸器内科	入職	松井 秀記					
	退職	伴 裕雅					
外科	入職	森田 隆平	橋場 亮弥	矢下 博輝			
	退職	花田 庄司	野村 奈央				
整形外科	入職	谷 亮佑	中澤 克優	富本 彩夏	上松 正人		
	退職	白川 裕一郎	永井 洋輔	森本 友紀子	柴田 将伍		
形成外科	入職	横山 萌加					
	退職	安形 省吾					
救急・総合 診療センター	入職	河南 裕介					
	異動(入)	鄒 仁峰					
	退職	長瀬 浩海					
放射線科	入職	丸田 初夏					
	退職	平川 恭子					

「NST 研修」

NST 専従 栄養科 八野 彩希

当院は日本病態栄養学会認定「栄養管理・NST 実施施設」であり、栄養サポートチーム (NST) が活動、入院患者の栄養管理を行っています。平成 29 年度新たな取り組みとして、NST 研修を実施しました。

NST 研修とは NST の構成要員である NST 専任スタッフ (看護師・薬剤師・管理栄養士) を育成する 40 時間の研修です。日本病態栄養学会主催のセミナーが 10 時間開催されており、残りの 30 時間を日本病態栄養学会認定の教育施設である当院にて研修が実施できるよう、平成 28 年度より NST 委員会中心に各部署協力のもと教育プログラムの作成にとりかかりました。

研修内容は、NST 回診・カンファレンスへの参加、褥瘡回診・ICT 回診への参加、各専門職種からの講義、症例検討としました。また各専門職種からの講義では、NST 専従 (管理栄養士)、医師、看護師、薬剤師の各 NST 専任スタッフに加え、言語聴覚士、感染管理認定看護師、皮膚排泄ケア認定看護師など、現在 NST 活動を担っている院内の専門職種を講師としました。

平成 29 年 11 月 15 日～12 月 7 日、当院看護師 2 名に対し 30 時間の NST 研修を実施しました。これに平成 30 年 1 月 11 日日本病態栄養学会主催 NST セミナー 10 時間 (京都国際会館) をあわせて、全過程 40 時間を修了しました。

3 月 8 日に修了式を実施し、2 名の専任看護師を育成できました。次年度以降も企画、広報し、NST 専任スタッフの育成に努めたいと考えています。



緩和ケア病棟入院中の患者様とご家族を対象に、身体的、精神・心理的、社会的、スピリチュアルなつらさへのアプローチのひとつとして、毎月、看護師が中心となり四季折々のイベントを企画開催しております。

空が晴れわたり、日差しも暖かな3月下旬、長居公園でお花見会を開催しました。患者様ご家族総勢15名と、大場部長、藪さこ内科主任部長含めた病棟スタッフと共に約50分間の散歩をゆったりと楽しみました。心地よい風が満開に咲き誇った桜の木々を通り抜ける風景は、自然と患者様の表情を、病室とはまた違う柔らかく優しい雰囲気へと導いてくれました。



【連載】～感染症情報を活用していますか?～

感染症のリスクは季節や場所を問わず身近に存在します。インフルエンザなどの流行時期はテレビやインターネットのニュースでも流行状況を目にすることがありますが、感染が拡大する前に地域の感染状況を把握することで、効果的な感染対策はもちろん診療にも役立てることができます。当院もインフルエンザの流行シーズンは感染症情報を活用し、地域の流行状況に合わせた感染対策を行っております。感染症情報を上手に活用し、感染症の早期発見と効果的な感染対策をしましょう。

1. 国立感染症研究所 (NIID) <https://www.niid.go.jp/niid/ja/>

インフルエンザの流行レベルマップで各都道府県の流行状況などが閲覧できます。その他、疾患名で情報を検索することができます。

2. 大阪府感染症情報センター <http://www.iph.pref.osaka.jp/>

大阪府の感染症の流行状況が閲覧できます。

3. 厚生労働省検疫所 (FORTH) <http://www.forth.go.jp/>

海外で流行している感染症や海外で健康に過ごすための注意点、ワクチンの接種に関連する情報が閲覧できます。

編集後記

広報室 M

先日、暖かくなってきたので久しぶりに葛城山の奥地へ探検に行きました。山道を進むと鬱蒼と茂った林が現れたのですが、そこに小川がありまして、そこだけ日の光がさしてました。あまりの美しさに呆然、、、思わずスマホで撮影！ひたすら清らかな気が漂っておりました。特に妖怪に出会ったとか幽霊を見たわけでもないのですが、これも神秘体験の類だろうなと思いました。



東住吉森本病院 地域医療連携センター

診察・検査・入院のご依頼、その他お問い合わせ
(地域医療機関・施設さま専用)

メールアドレス: m_chiiki@tachibana-med.or.jp

電話: 0120-65-0343 FAX: 0120-10-5260

【受付時間】 平日 9:00 ~ 20:00

土曜日 9:00 ~ 17:00

地域医療連携センター長 坂上 祐司

副センター長 井内 郁代